

建築のデザインに関する研究



生活環境科学系・住環境学領域

加藤 亜矢子 准教授 KATO Ayako

博士(学術)(京都工芸繊維大学)

■研究キーワード 建築設計／住環境デザイン／公共建築／住宅

■主な所属学会 日本建築学会

■研究者総覧 <https://koto10.nara-wu.ac.jp/profile/ja.a44aa94d5db16b58520e17560c007669.html>



研究者総覧

研究概要

建築設計を専門とし、実践を通じた研究を行っています。

個人としては建築家としても活動し、公共建築、商業建築、住宅からインテリアまで、独自の空間構成や素材をいかした設計を行っています。近年は、地域交流拠点の設計や、文化的歴史的価値のある建築のリノベーションなどに携わっています。ヒト・モノ・コトの関係性(ネットワーク)に着目した設計を行っています。

研究室では、大学院生を中心に、実践的なプロジェクトを多数行っています。現在は、地域交流施設やインキュベーション施設のデザインに関する研究や、木材を用いた建築構造デザインや家具のデザインの研究などを行っています。

このようにデザインとリサーチの両輪で、民間企業や自治体とも連携した実践的研究を行っていることが特徴です。



旧吉野町プロジェクト計画模型



中村藤吉平等院店外観

研究のプロセス・研究事例

1. 旧吉野小プロジェクト

奈良県吉野町の旧吉野小学校利活用事業において、建築設計を担当しています。町民たちの思い出の場所である小学校を、地域住民のための交流の場および研修宿泊施設として再生する計画です。研究室としてもプロジェクトに参画し、事業主である民間企業と吉野町とともに産官学連携で地域課題に取り組んでいます。2027年4月開所予定。

2. 中村藤吉平等院店

京都府宇治市で170年続く茶商・中村藤吉本店の平等院店の設計。築120年の旧旅館建築を利用した、カフェおよび物販店舗のリニューアル。平等院の参道と宇治川に面した文化的にも景観的にも豊かな場所に、建築の構造とインテリア、ランドスケープを刷新することで、場のもつ魅力を最大限引き出すデザインとしました。2022年10月オープン、2025年2月第二期オープン、現在、第三期計画が進行中。2023グッドデザイン賞ベスト100受賞。

3. WOTA office project

東京都馬喰町に建つ築70年の旧銀行建築を小規模分散型水循環システムの研究・開発を行うスタートアップ企業WOTAのオフィス兼ラボとして改修。長い時間の中で虫食いの改修され続けてきた建築に「15のランゲージ」という誰もが共有できる設計ルールを与えて改修。

4. 上新庄の集合住宅

大阪・上新庄駅に近接する66住戸からなる集合住宅の設計。縁甲型枠RC打放し仕上げと高耐候性木材仕上げの界壁を千鳥状に配置したリズムミカルなファサード。線路に面する共用廊下は溶融亜鉛メッキ仕上げの部材で構成した上で壁面緑化。サスティナブルを意識した生活を提案。2026年竣工予定。